

大宮駅周辺地域を

政令指定都市さいたま市の顔にふさわしい都心として再構築します

「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」とは

- 大宮駅周辺地域には商業をはじめとする様々な都市機能が集積するなど、高いポテンシャルを持つ地域であるにも関わらず、慢性的な交通渋滞の発生、基盤整備の遅れや商都大宮をとりまく環境の変化など、様々な問題を抱えた地域でもあります。「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」は、大宮駅周辺地域を政令指定都市さいたま市の「顔」にふさわしい地域にしていくことを目的とした新たなまちづくり計画です。
- 本計画では、民間と行政の協働によって地域が目指すべき「将来像」とその実現に向けた「戦略」を示すとともに、まちづくりを着実に動かしていくために「優先的に取り組むべきプロジェクト」を抽出しました。
- 策定にあたり、「三位一体の推進体制」を構築して検討を行ってきました。地元や市民のみなさまの意向や考え方を把握するとともに情報共有を図る「意見交換会」を設置し、参加型での検討を進めました。また、学識経験者や地元・行政関係者が大所高所から総合的な検討を行う「策定委員会」と分野別に詳細な検討を行う「分科会」を設置し、行政とともに多様な関係者が一緒に議論を重ね、戦略ビジョンをとりまとめました。

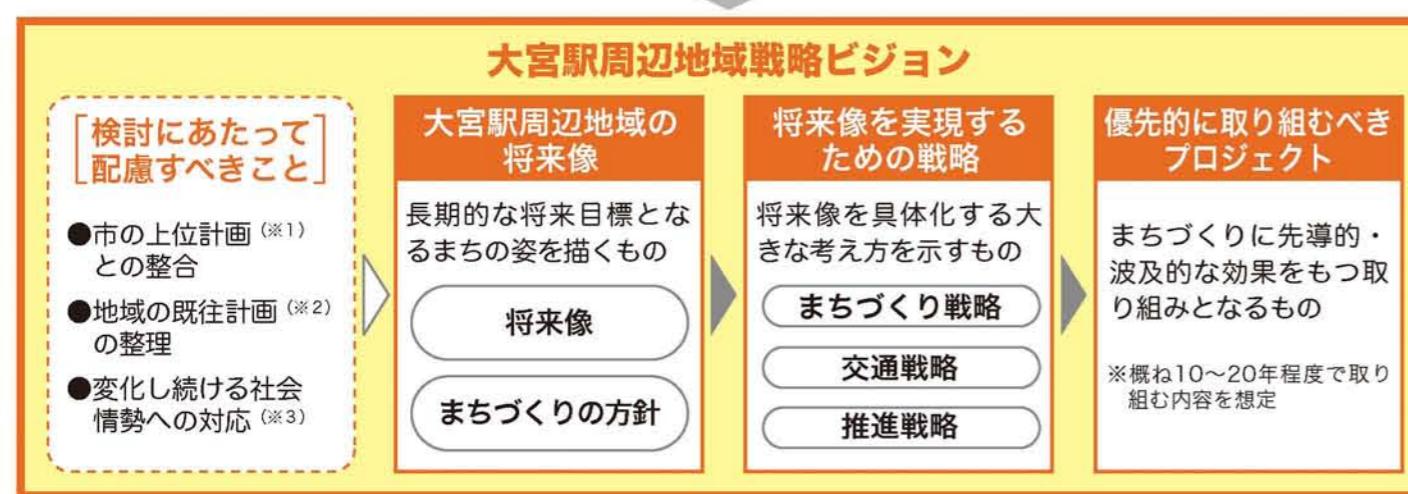
意見交換会

地元まちづくり団体や住民、商業者、通勤・通学者などが一堂に会し、大宮の将来像やそれを実現するために解決すべき課題、課題を解決するための具体的なアイデアについて、テーマ別のグループに分かれて議論し、「まちづくりコンセプト」としてとりまとめる場

※平成20年度は全体討議、平成21年度は「大宮の未来を考えるワークショップ」としてグループ討議形式で開催

＜グループ別検討テーマ＞

- エリア内の交通全般
- 大宮駅と街との関係
- 多様性のあるまちづくり
- 商店街と再開発のあり方
- 参道中心のまちづくり



大宮駅周辺地域戦略ビジョン策定委員会

学識経験者を中心に編成。様々なテーマについて大所高所から検討を行い、全体をとりまとめる場

※平成20～21年度の2ヵ年で検討

まちづくり分科会・交通戦略分科会

学識経験者、地元関係団体、行政機関等で編成。「まちづくり」と「交通」をテーマに具体的、専門的な検討を行う場

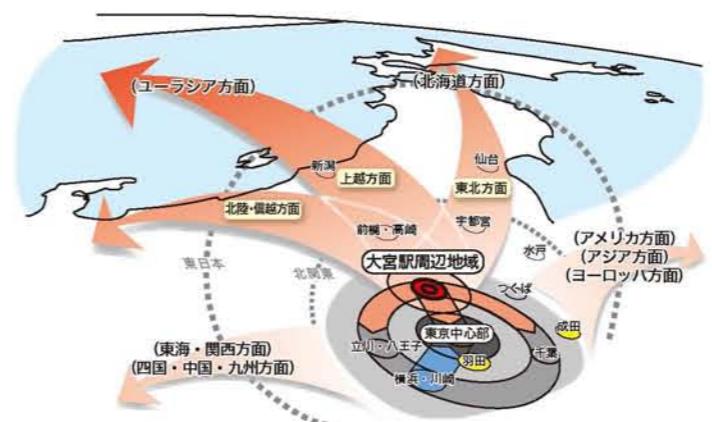
※平成21年度に設置

（※1）さいたま市総合振興計画、さいたま市都市計画マスターplanなど
（※2）大宮駅東口都市再生プラン、大宮駅周辺地区交通計画など
（※3）地球環境や社会環境の変化に対応した持続的な発展、グローバル社会にふさわしい都心活動と都心空間、広域交通における拠点性の向上と地域内の快適な移動環境

「大宮駅周辺地域」の位置づけと課題

■広域的な位置づけ

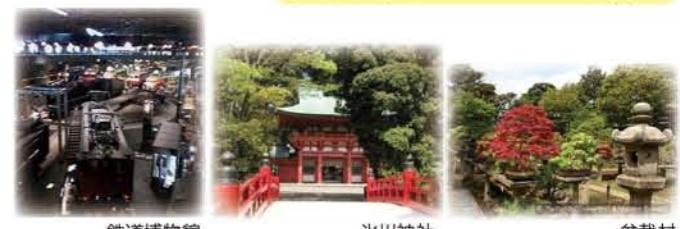
- 「東日本の交流拠点都市」として、首都圏と北関東・東日本全体を結ぶ交通の要衝となっています。



■まちづくりの課題

- 大宮の都市規模や交通結節点としてのポテンシャルが活かし切れていません。
- 多様な市民活動を支える「核」としての機能がまちなかに不足しています。
- 「大宮らしさ」を活かした新たな魅力や価値を創出していく必要があります。
- 民間の力がまちづくりの推進にさらに活かされていくことが必要です。

検討対象区域と周辺の地域資源



■首都圏・さいたま市における位置づけ

- 高次な都市機能が集積しており、首都圏の「業務核都市」としての役割を持つとともに、さいたま新都心周辺地区と一体的な都心として位置づけられています。

